



コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和5年 5月12日 NO.3
校是「和致芳」

みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう
「一人一人が自己の成長を実感し、笑顔になる学校へ」
～できた！わかった！うれしい！授業の創造～

あたたかく元気に1年生を迎える会 5/9 (火)

体育館で全校生が集まって1年生を迎える会が行われました。6年生と1年生が手をつないで入場します。6年生といっしょで1年生はみんな嬉しそうです。ステージに1年生15名がのぼり、自己紹介をして、好きな食べ物を教えてもらいました。「わたしの名前は(ぼくの名前は)〇〇〇です。好きな食べ物は〜〜です。よろしくおねがいします！」驚いたことがありました。まず、みんなはきはきと話



していました。全校生の中で堂々としたものです。明るく元気な1年生です。もう一つは、2年生から6年生までのあたたかなまなざしと反応です。紹介が終わると一人一人に大きな拍手。好きな食べ物を言うと「おお〜！」「え〜！」その反応のいいこと。学校に関するクイズもあり、あ

たかたか楽しい迎える会になりました。企画した6年生のあたたかな雰囲気そのまま伝わるいい会でした。ちなみに好きな食べ物で一番多かったのが「いちご」、一番歓声が沸いたのが「梅干しおにぎり」です。他にもみかん、アイス、鶏モモのレモン漬、イチゴムースなどなどたくさん好きなものを教えてもらいました。これからどんどんみんなと仲良くなって、一緒に活動するのが楽しみです。



ちょっぴり緊張 授業参観。

PTA 総会・学年部総会参加、ありがとうございました。4/28 (金)

今年度初めて、保護者の皆さんに学習の様子を見ていただくことができました。昨年までの3年間は廊下からの参観でしたが、今回は教室の中に入って、お子さんの近くで見ていただくことができました。子供たちは朝からソワソワしながらも、とても嬉しそうでした。



たくさんの方々に授業を見てもらえることは子供たちの意欲につながります。



PTA 総会・学年部総会にも参加していただき、本当にありがとうございました。いつもより元気に手を挙げ、みんなの前で勇気を出して頑張っていました。明るく元気な雰囲気

気が伝わってきました。

学校が一丸となって「できた！わかった！うれしい！授業の創造」を目指して頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。



「言葉の3Dは使わない！」

「子育て上手になる魔法の言葉」 尾木直樹 著より

“D”から始まる3つの言葉。「でも」「だって」「どうせ」を私は「言葉の3D」と呼び、「3大NGワード」としています。3つの言葉の共通点は、言い訳に使うネガティブな言葉であり、心理学的にいうと小心者の言葉であるということです。このような言葉を使っていると、自分のプラス面や成長を「成功」「よかったこと」としてとらえられず、いつまでも自信を持つことができなくなります。

その中でも最も危険な言葉[どうせ]を子どもが使っていたら要注意です。「どうせ僕なんか何をやってもダメだ」というように「どうせ」の先にあるのは、自分への卑下、あきらめです。自分を卑下したり、あきらめたりするクセがついてしまうと、自己肯定感が育たず、生きる希望や夢が持てない無気力な子どもになってしまいます。これにストップをかけられるのは親しかいません。子どもが「言葉の3D」を使うようになるのは、身近な大人が使っているのを聞き慣れてしまっているため、というケースが多いのです。親自身が「言葉の3D」を使わないように実践すること。それが、子どもにネガティブな思考や行動をさせない最善の対応策だといえます。

8日から始まった保護者面談へのご協力ありがとうございます。できるだけお子さんの良い点を見つけてお教えするようになっています。「ほめて伸ばす」を学校でも家庭でも心がけて、自信を持った子供に育てていきたいと思えます。